

第 2 期(2015.09～2016.12)事業報告

1 会議

1.1 総会

第 1 期総会を 2015 年 10 月 30 日に開催した。主要な議題は第 1 期事業報告、決算報告、第 2 期事業計画、予算計画、役員改選、会員種別の変更についてである。また、臨時総会を 2016 年 8 月 27 日に開催した。主要な議題は事業年度に関する定款改定についてである。

1.2 理事会、総務委員会および委員総会

理事会を 2 回、総務委員会を 11 回開催した。総会への提出議案の作成、各事業の充実、会員増強の取り組み、および任期満了に伴う新役員の選出について審議した。また、委員総会を 2016 年 3 月 22 日に運営委員の任期満了に伴う新体制への引き継ぎ等を行った。

1.3 賞選考委員会

光学論文賞選考委員会および光学奨励賞選考委員会を開催し、各賞の受賞者を選定した。選考結果は 2016 年 7 月に開催した総務委員会で報告された。コニカミノルタ光みらい奨励金選考委員会を開催し、受賞研究を選定した。結果は 2016 年 9 月に開催する総務委員会で報告された。OPJ 優秀講演選考委員会を開催し、受賞者を選定した。

2 事業、行事

2.1 編集委員会および会誌出版

会誌「光学」を（44 巻 9～12 号、45 巻 1～12 号）発行した。光学編集委員会を 8 回開催し、企画編集、進捗管理等を実施した。光科学および光技術調査委員会を関東で 4 回、関西で 3 回実施し、論文抄録、企画記事の執筆を実施した。学術雑誌「Optical Review」を（22 巻 5, 6 号、23 巻 1～6 号）発行した。Optical Review 編集・出版合同委員会を 2 回開催した。

2.2 講演会

2016 年 1 月 14 日、15 日に第 42 回冬期講習会を、2016 年 6 月 23 日、24 日に第 41 回光学シンポジウムを開催した。

2.3 年次学術講演会

2015 年 10 月 28 日～30 日に年次学術講演会 Optics & Photonics Japan 2015 を、2016 年 10 月 30 日～11 月 2 日に年次学術講演会 Optics & Photonics Japan 2016 を筑波大学東京キャンパス文京校舎で開催した。

2.4 展示会・一般向けイベント

2015 年 11 月 8 日、21 日、28 日、29 日に千葉市科学館と連携して実験教室「光

ってこんなにすごい ～光の楽しさとびっくりを体験～」を開催した。2015年11月15日にサイエンスアゴラ国際光年特別セッション「ひかり」を通してみる宇宙・時・わたしたちの歩みと未来を共催した。

2.5 支部活動

国内8支部にて、地域の状況に応じた光学および関連学術分野の研究の促進ならびに成果の普及のため、単独および他学会との共催によるセミナー、講演会、支部表彰等の活動を実施した。

2.6 研究グループによる活動

新たにフォトダイナミズム研究グループを設立した。各研究グループの掲げるテーマに即して、光学および関連学術分野の研究の促進ならびに成果の普及のため、単独および他学会との共催によるセミナー、講演会、支部表彰等の活動を実施した。

2.7 表彰

光学論文賞、光学奨励賞、コニカミノルタ光みらい奨励金の受賞式を年次学術講演会において実施した。

2.8 関連学協会との連携および協力

国内他学会、研究団体及び関連業界との共催、協賛、講演による研究会、講演会等の開催を通じて関係団体との連携、協力を推進した。開催件数は主催6件(うち5件は国際会議)、共催5件(うち2件は国際会議)、協賛62件(うち7件は国際会議)であった。

2.9 国際交流

光学および関連学術分野の研究の国際的な促進ならびに成果の普及のため、欧米およびアジア・太平洋地区の関連学協会との研究交流を推進した。

2.10 会員動向

	一般会員	学生会員	シニア会員	賛助会員	特別会員
2015年12月31日	726名	109名		34社 49口	95口
2016年12月31日	616名	117名	50名	35社 50口	83口

2017 年度事業計画

1 会議計画

1.1 総会

第 2 期総会を 2017 年 3 月 18 日に開催する。主要な議案は 2016 年度事業報告と収支決算報告、2017 年度事業計画と事業予算、任期満了に伴う新体制についてである。

1.2 理事会、総務委員会および委員総会

理事会を 3 回、総務委員会を 6 回開催し、総会への提出議案の作成、各事業の充実、会員増強の取り組み、および任期満了に伴う新役員の選出について審議する。また、委員総会を 2017 年 3 月 18 日に開催し、運営委員の任期満了に伴う新体制への引き継ぎ等を行う。

1.3 賞選考委員会

光学論文賞選考委員会および光学奨励賞選考委員会を開催し、各賞の受賞者を選定する。結果は 2017 年 7 月に開催する総務委員会で報告する。ユニカミノルタ光みらい奨励金選考委員会を開催し、受賞研究を選定する。結果は 2017 年 9 月に開催する総務委員会で報告する。OPJ 優秀講演選考委員会を開催し、受賞者を選定する。結果は理事会に報告する。

2 事業、行事計画

2.1 編集委員会および会誌出版

会誌「光学」を年 12 冊（46 巻 1～12 号）発行する。光学編集委員会を 6 回開催し、企画編集、進捗管理等を実施する。光科学および光技術調査委員会を関東と関西で各 3 回実施し、論文抄録、企画記事の執筆を実施する。学術雑誌「Optical Review」を年 6 冊（24 巻 1～6 号）発行する。Optical Review 編集委員会および出版委員会を各 1 回開催する。

2.2 講演会

2017 年 1 月 20 日に冬期講習会を、2017 年 6 月 22 日、23 日に光学シンポジウムを開催する。

2.3 年次学術講演会

2017 年 10 月に年次学術講演会 Optics & Photonics Japan 2017 を筑波大学東京キャンパス文京校舎で開催する。

2.4 セミナー

光学および関連学術分野の研究の促進ならびに成果の普及を目指して各種セミナーを開催する。

2.5 展示会・一般向けイベント

光学および関連学術分野の研究の促進ならびに成果の普及を目指して各種展示会への出展、一般向けイベントの開催を実施する。

2.6 支部活動の展開

中国・四国・九州支部を中国・四国支部と九州支部の二つに分割し、支部活動のさらなる活性化を図る。国内 8 支部にて、地域の状況に応じた光学および関連学術分野の研究の促進ならびに成果の普及のため、単独および他学会との共催によるセミナー、講演会、支部表彰等の活動を実施する。

2.7 研究グループによる活動

各研究グループの掲げるテーマに即して、光学および関連学術分野の研究の促進ならびに成果の普及のため、単独および他学会との共催によるセミナー、講演会、支部表彰等の活動を実施する。

2.8 表彰

光学論文賞、光学奨励賞、コニカミノルタ光みらい奨励金の受賞式を年次学術講演会において実施する。

2.9 関連学協会との連携および協力

国内他学会、研究団体及び関連業界との共催、協賛、講演による研究会、講演会等の開催を通じて関係団体との連携、協力を推進する。

2.10 国際交流

光学および関連学術分野の研究の国際的な促進ならびに成果の普及のため、欧米およびアジア・太平洋地区の関連学協会との研究交流を推進する。